

第6回 海老名市保護者負担経費検討委員会次第

日 時：平成30年5月22日（火）

15：30から

場 所：えびなこどもセンター 201会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

(1) 制服・ジャージ等の今後の方向性について（前回のまとめ）

(2) モデル校でのコンペ実施について

(3) 修学旅行の課題と保護者負担軽減策について

4 その他

(1) 今後の予定

・第7回検討委員会

7月25日（水） 15：30～ えびなこどもセンター 201会議室

5 閉 会

## 1 制服・ジャージ等の今後の方向性について（前回のまとめ）

### （1）制服

- ① 各校の仕様書を作成し、業者に広く周知することによって、取扱店・販売店の拡大を図り、保護者負担を軽減させる。
- ② 市ホームページに各校の制服・ジャージの販売店・価格等を公開することで入学以前から保護者が情報を入手できるようにする。

### （2）ジャージ（上下）

- ① 各校で選定委員会を組織し、ジャージの仕様書を作成した上でコンペを行う。
- ② 決定業者との契約期間は3年～5年とする。

### （3）上履き（兼体育館履き）

- ① 各校で選定委員会を組織し、上履きの仕様書を作成した上でコンペを行う。
- ② 決定業者との契約期間は3年～5年とする。

### （4）運動用Tシャツ・短パン・Yシャツ・ポロシャツ

- ① 上記については、仕様を定めた上での自由化が望ましい。
- ② 既に実施している学校もあるが、全ての学校が平成31年度入学生からの実施が望ましい。
- ③ 学校で指定していないものについても、制服販売店で推奨品としていることもあるため、学校から保護者に対し、基本仕様に沿ったものであれば、制服販売店以外でも自由には買えることを周知する必要がある。

## 2 モデル校でのコンペ実施について【ジャージ上下】

### (1) 目的

今年度に先行モデルとして、1校でコンペを実施することで、

- ①保護者負担軽減の効果を図ること
- ②コンペ実施のノウハウを蓄積させ、効率的に実施できるようにすること

### (2) コンペ実施校

海老名中学校

### (3) コンペ対象

ジャージ（上・下）、（上履き（兼体育館履き））

### (4) 実施スケジュール

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市教委			コンペ実施周知 コンペ参加者募集	参加者受付・質疑応答							
学校（選定委員会）		ジャージ等選定委員会設置	ジャージ等仕様書の作成	業者選定（契約者決定） コンペ実施							
		選定委員会開催							販売		

### (5) その他

- ① コンペ実施にあたり、先々は学校が主体的に実施していくことを目指すが、当面の間は各校の選定委員会を就学支援課が支援をしていく。
- ② 他の5校について
  - ・海老名中学校での実施を踏まえて、今年度中に各中学校に選定委員会を立ち上げ、来年度でのコンペ実施に向けて、校内での議論を深めてもらう。
  - ・ジャージのデザイン変更については、各校の裁量とする。

### 3. 修学旅行の課題と保護者負担軽減策について

#### ○修学旅行の課題について

課題①	高額な費用負担を伴う。
保護者アンケートの意見	金額が高いと感じる。金銭的負担が大きい。
	行先や宿泊先によって差があり、不平等を感じる。
	必要性は十分に感じる行事である一方、費用が高額だと思う。
	旅費以外にも、交通費、入館料等が結構かかることに驚いた。
	修学旅行の必要性を見直すべき。皆が簡単に旅行できる時代に修学旅行は必要なのか。

課題②	「行先・目的・金額等」について、生徒、保護者に対して十分な周知が図られていない。
保護者アンケートの意見	費用負担はしてもよいが、前もって知らせてもらえると準備することができる。
	行先、内容について、保護者や子どもの意見も聞いてほしい。
	どうすれば思い出に残るかを考えてほしい。
	その場所の特色を体験する行程を考えてほしい。
	自分たちで計画し、見学させたい。

#### ○保護者負担軽減策について

##### 【現状として】

- ・小学校 13 校での修学旅行検討委員会で情報交換を行い、各校で検討を行い決定している。
- ・中学校 6 校各校で、複数の旅行会社によるプレゼンテーションの実施や見積もり合わせの実施などを行い、各校で決定している。

##### 【軽減策として】

##### ①小学校

- ・13 校でバスの借り上げ
- ・旅行会社への一括発注（全校同じ場所・別の場所）
- ・修学旅行の時期、場所の見直し
- ・支払方法の選択

##### ②中学校

- ・旅行会社への一括発注（全校同じ場所・別の場所）
- ・修学旅行時期、場所の見直し
- ・支払方法の選択

[別紙 1]

①平成 30 年度市内中学校の修学旅行について

	行先等	目的・形態等
小学校 13 校	日光方面	歴史・自然学習。ホテル・旅館泊。
海老名中	京都・奈良方面	京都・奈良班別自主学習。ホテル泊。
有馬中	京都・福井方面	漁業体験。民泊。京都班別自主学習。ホテル泊。
海西中	滋賀方面	学年で琵琶湖を船で回る。民泊。
柏ヶ谷中	広島方面	平和学習。民泊。
大谷中	京都・滋賀方面	京都班別学習。国際理解。民泊。
今泉中	青森方面	ふれあい体験。民泊。

②他市の状況について

	行先等	目的・形態等
A 市	京都・奈良方面	観光型。ホテル泊で、民泊はしていない。
B 市	京都・奈良方面	観光型が多い。体験型を取り入れているところもあるが、学校ごとに差異がある。
C 市	京都・奈良方面 広島方面 福井方面	観光型が多い。一部の学校で、平和学習、民泊、漁業体験などを行っている。